

# セ ボ ス

マガヤ

ランティア

ネットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン  
<http://www.otagaisama.or.jp/>

2015.8 No.136

今月のトピック

特集●

世田谷の疎開児童と特攻隊の出会い  
～「戦争体験を聴く会、語る会」より～

まちの市民力! ●用賀サマーフェスティバル

キラリ世田谷人 ●上田 幹郎さん



イラストレーション●おのみさ  
イラストレーター／麺料理研究家  
京都芸術短大卒業後、デザイン事務所勤務  
を経て、フリーのイラストレーター、デザ  
イナーとして仕事をし、現在は麺料理の仕  
事も平行してやっています。

●わたしの世田谷

転勤族だったために引っ越しが多く、ふるさと  
がない私は、生まれた時に住んでいた世田谷に  
愛着を持ち、今もまた世田谷に住んでいます。  
自転車で色んな所に行けるこの街が大好きです。

# 世田谷の疎開児童と特攻隊の出会い ～「戦争体験を聴く会、語る会」より～



今年は戦後70年。70年前の8月15日から私たち日本人は、「戦後」を歩んできました。多くの若い“いのち”が失われた戦争を忘れずに、「二度と戦争はしない」と平和への想いを新たにする8月。去る5月23日に開催された「戦争体験を聴く会、語る会」で語られた「世田谷の疎開児童」に思いを馳せ、身近なところで戦後70年の意味をあらためて考えてみたいと思います。

「鉛筆部隊」の子どもたちと  
特攻隊の出会い

第8回目となる「戦争体験を聴く会、語る会」のことを知ったのは、セボネ5月号の取材で「北沢川文化遺産保存の会」のきむらけんさんにお話をうかがった時でした。きむらさんたちは、下北沢周辺の文化・歴史の遺産を探り出し、保存する活動を続ける一方で、戦争のことも調べ、戦争体験者の肉声を聞いて、戦争を知らない世代に「戦争とはなにか」を知ってほしい、そして平和の貴さを認識してほしい、と「戦争体験を聴く会、語る会」をスタートさせました。

2008年の第1回目の「戦争体験を聴く会、語る会」の会場は代沢小学校でした。縁をたどっていくうちに、代沢小学校の子どもたちが疎開先の信州の浅間温泉で出撃前の特攻隊の若い人たちと出会っていた、という史実が明らかになったのです。代沢小は引率の

先生が作文に熱心な方で、子どもたちを「鉛筆部隊」と名づけていました。鉛筆部隊と本物の部隊の出会いがあったのです。

いつも自転車で何気なく通りすぎる代沢小学校にそんな歴史があったのか、と、急に戦争の事実が近くに寄ってきた気がして、かつての疎開児童たちが語るという会を心待ちにしました。

世田谷が戦争の歴史につながる

5月23日の「戦争体験を聴く会、語る会」当日、きむらさんは基調報告の中で、4つのポイントを語りました。



報告する、きむらけんさん

ひとつは、なぜこの時期にこういう会を開いているのか、ということ。実は1945年5月24日から25日にかけて、会場となった下北沢の都民教会のあたりは、B29の爆撃が山の手を襲った「山の手大空襲」の被災地となったところでした。10万人のいのちを奪った3月10日の東京大空襲は語られることが多いですが、自分の暮らしているまちがかつてすぎましい爆風に襲われた、ということを私は知りませんでした。山の手へ追い打ちがかかる中で、なかば敗戦は宣告されていたのにそれでも戦争は終わらなかつたのです。

2つ目に、「体験者から学んだこと」は「戦争は始まつたら終わらない。誰も戦争をやめようとは思わなくなる。死や飢えをなんとも思わなくなる。人間を人間と思わない。人間が武器の代わりに使われてしまう」ということ。

3つ目は「疎開児童」という、あまり語られることのないテー

マ。浅間温泉には世田谷から7校、2500人が疎開し、その時に沖繩に向かう飛行機が松本飛行場にやってきたという隠れた近代の歴史。そして子どもたちが体験した心理的にも肉体的にも苦痛だった疎開生活の酷さです。

4つ目は、戦争中に浅間温泉に飛来した特攻隊。

この4つのポイントを軸に、体験者である「疎開児童」が浅間温泉での「特攻隊」とのふれあいを語る、というのがこの日のプログラムでした。

特攻隊の若者の思いを聴く

昭和20年3月の数日間、世田谷の疎開児童たちと出会った特攻隊（武揚隊）の若者15人が、出撃の前日の壮行会に「別れの歌」を東大原小学校の100数十名の女子の前で歌を披露しました。その歌がなんと70年ぶりにこの日再現されました。サプライズの主役は



特攻隊員が歌った歌を秋元さんが記憶していた

「東大原小の疎開児童だった、秋元佳子さん。秋元さんが歌詞とメロディを覚えていたおかげで、たった一時で消えるはずだった歌が、奇跡的に70年ぶりに蘇りました。「タイトルはないので仮に『浅間望郷の歌』としておきます」ときむらさん。秋元さんは記憶の中の歌をメロディをつけてアカペラで歌いました。

1. 広い飛行場に黄昏れ迫る  
今日の飛行も無事済んで  
塵にまみれた飛行服脱げば  
かわいい皆さんのお人形  
明日はお発ちか松本飛行場  
さあツと飛び立つ我が愛機

3. 世界平和が来ましたならば  
いとしなつかし日の本へ  
帰りやまつきき浅間をめがけ  
わたしや行きます富貴の湯へ

秋元さんの記憶力にはびっくりです。都会のかわいい女の子たちが心をこめてつくったお人形を飛行機に乗せて、沖繩に「死ぬために」向かう、前途洋々たるはずの若者たち。切ない思いが、こちらにもずーんと伝わります。きむらさんは「これは戦争の時代に『平和』を歌った歌ではないか」といいます。

特攻隊は、日本の負けが明らかになつている戦争末期に、爆弾を搭載した飛行機で敵艦に体当たりする「自爆」作戦ですから、帰つて来られるはずもなく、「今度会うのは九段の花の下」、靖国神社が最終ゴールだったわけですが、この歌では、真っ先にめがけるの



明石さんの協力で見られた  
歌が披露された

は靖国ではなく、浅間温泉です。この時期「世界平和」という言葉が出てくるのも不思議です。「きむらさん、わだつみの声」に載っている長谷川信少尉は武揚隊に属し、富貴の湯に滞在していたのです。彼の言葉かもしれない」ときむらさんは推測します。長谷川少尉は「：恐ろしき哉 浅ましき哉 人類よ、猿の親類よ」と戦争の本質、人間の本質を鋭く衝いた青年でした。この日は、きむらさんとブログで偶然知り合ったという作曲家の明石隼汰さんが音源から採譜して楽譜にし、ピアノの伴奏をつけて本格的に歌う、というダブル・サプライズがあり、感動はさらに深

まりました。

元「疎開児童」から学び、  
考えること



学童疎開経験者が当時を語る

浅間温泉で疎開生活を送った、かつての世田谷の国民学校生徒たちが、次々と経験を語ります。「きむらさんと出会って、戦争は絶対にダメ、と若い人たちに話さなければいけないと決心した」小市さん（山崎小）は、「一生会えないかもしれない母の握った白米のおにぎりを大切に持っていたら、カビが生えてしまった」と今でも無念そう。同じく山崎小の長谷川さ

んは「疎開は地獄で監獄のようだった。『欲しがりません、勝つまでは』の世界。今、戦争になつたとしてやめる自衛隊員がいれば、必ずや徴兵制となります」と危機感をあらわにします。

代沢小の「鉛筆部隊」にいた鳴瀬さんは、起床ラップを吹き、疎開中は欠食児童だったと語りました。松本に軍需産業の工場が移るなど、疎開児童たちに危険がせまるとお寺などに再疎開。「食料不足で、すいとん、生のさつまいも、蜂の子、バッタを焼いて食べたい」という話もありました。

### 身近にある戦争の面影

先生が提灯で道を照らし、代沢小の子どもたちが親元を離れ、真つ暗な町を下北沢駅に向かつて歩いていき、父母たちの悲痛な声をあとに新宿行きの小田急線が駅を出て行く。そんな光景がきむらけんさんの著書『鉛筆部隊と特攻

隊』（彩流社刊）から浮かび上がります。胸が締め付けられるような切なさを覚えます。代沢小から下北沢駅までの茶沢通りでしょうか。70年前の出来事を知ったあとは、何気なく通り過ぎる町並みも違って見えます。

下馬にある「世田谷観音」。ここには特攻兵の霊が祀られている、と初めて知りました。子どもたちが遊び、プレーパークもある世田谷公園は、かつて駒沢練兵場でした。砦公園も代々木公園も、すべて戦争のために使われる場所であったのです。

この8月、世田谷公園に平和資料館がオープンします。人びとが平和に憩う公園を70年前に戻してはいけない。いつまでも「戦後」と言い続けたい。節目の年、体験者の話に耳を傾け、身近な馴染みの場所を訪ね、あらためて戦後70年の意味を考えてみませんか？

（取材／星野弥生）



用賀から全国へ「地元愛」発信

## 用賀サマー フェスティバル

# まちの 市民力!!

取材・家井 雪子

●  
街の中で地域やそこで暮らす  
人たちと一緒に活動している  
団体を紹介します



毎年8月末に開かれている「用賀サマーフェスティバル」。用賀駅近くの公園にステージや屋台が設けられ、用賀カクテルを手にライブやゲームを楽しんだり、子どもたちが巨大プールで宝探しをしたり。『JIMOTOバカンス!』をコンセプトに「夏の終わりを、用賀で遊ぼう」というこのイベントを企画運営しているのが、「用賀サマーフェスティバル実行委員会」です。

今年の実行委員長の板橋龍太郎さんは20歳。「用賀にゆかりのある大学生を中心に、高校生やOBなど約10人が集まっています。ともかく地元が好きという若者たちで用賀を盛りあげよう」と毎週会議を開き、フェス当日は100人以上のスタッフが集まります」と話します。

11年前、「地元で何かやりたい」と若者たちが始めた夏祭りは、若いエネルギーが地域を巻き込み、昨年は2日間で延べ1万5000人が来場しました。世田谷美術館とコラボしたワークショップや、タンザニア大使館との交流ブースを開いたり、プログラムも年々多彩に広がっています。

「地域とつながり、来てくれた人とながりたい」という板橋さんは地元の都立桜町高校の卒業生。生徒会活動を通して地域の祭りや古布回収などに関わり、さまざまな年代が協力する多世代間交流の

面白さを知りました。実行委員会には昨年から参加。ここでも、何かやりたいという熱い気持ちはあってもどうやっていいかわからない若者たちに、町会やPTAなど町の大人たちが知恵や力を貸してくれました。「マンション暮らしで近所づきあいも少なかった自分に、地域の人間関係ができ地元意識が生まれた」という板橋さんは、祭りを通して育った若者のパワーを地域に還元したいと考えています。

若い世代が住みたい街として人口の流入が続いている世田谷ですが、世田谷を故郷と感じられるようなまちづくりは行われているでしょうか。実行委員会のOBには、用賀での起業をめざしたり、就職先の地方でまちづくりに関わる人もいます。

「都会には人がたくさんいても、つながっていない。それを若いヤツらでつくっていききたい」と板橋さん。この夏祭りが若者たちの新しいふるさとづくりにつながっているようです。



地域で「助け合い」

上田 幹郎 さん  
うえだ みきお

# や せた 人 キラリ

世田谷を中心に活躍する  
キラリと光る素敵な方がたを  
ご紹介し  
ます  
取材●鈴木 朋子

「助け合い」が  
できる絆づくり  
が必要だと考  
え、日常からの  
防災対策や地域  
でのコミュニ

災体験をきつかに、非常時に「助け合い」ができる絆づくりが必要だと考え、日常からの防災対策や地域でのコミュニ

今回のキラリ人は、優しい笑顔の上田幹郎さん。会社勤めの間は地域に無縁だったという上田さんですが、今ではせたがや災害ボランティアセンターの運営委員をはじめ、防災士、世田谷区地域防災リーダーなどさまざまな活動をしています。

さかのぼること20年。サラリーマン時代に阪神大震災が発生し、東京からすぐさま会社の支店がある神戸に飛びました。支店や社宅などにも被害が及び、毎日会社で対策会議をして安否確認や対応に追われ、「何が大事なのか必要なことを自分で考えなくてはならなかった」と振り返ります。その震

ケーションの大切さを痛感しまし

た。「退職後は知り合いを増やし、地域に貢献しよう」と思い、世田谷ボランティア協会主催の『災害ボランティアコーデイネーター養成講座』に参加。災害ボランティアの知識を習得し、2004年の中越地震では新潟県山古志村でのボランティア活動、東日本大震災後はボランティアバスにて宮城県や岩手県陸前高田市で災害ボランティア活動に従事しました。

『災害ボランティアコーデイネーター養成講座』はとても勉強になり、受講後は防災対策の必要性を自分だけでなく、広くみなさ

んに伝えていなくてはと思うようになりました」と話します。自宅のある桜丘町会では『災害時要援護者助け合いネットワーク』の災害時支援隊員をつとめ、大震災対応マニュアルや助け合い手帳をつくって、助けが必要な方と助けに行ける方へレクチャーをしています。

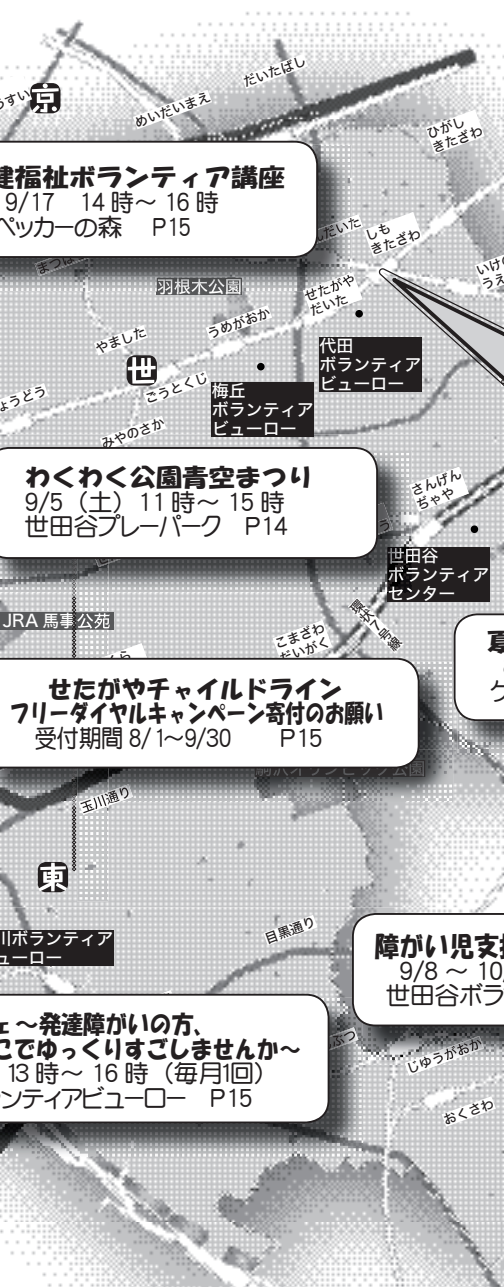
「最近では災害ボラセンの手伝いも

ちよこつとしています。あまり役に立てていない気もしますが」と笑う控えめな上田さん。東京農業大学グリーンアカデミーの園芸講座で出会った仲間たちと野菜づくりに没頭したり、国立成育医療研究センターの園芸ボランティアにも参加するなどすっかり地域と顔なじみ。

「特別なことはしなくていいので、

備蓄はきちんととして、毎日寝る前にかんに水をいっぱい入れておく。災害が起こったらまず自分の身を守る。それが一番大事」  
まず自分の安全を確保してから助け合う。一人ひとりのその意識が、地域を守る第一歩なのでしょう。

\*沿線別にイベントやボランティア  
情報を入れていきます。  
詳細はP10～15をご覧ください。



**建福祉ボランティア講座**  
9/17 14時～16時  
パッカーの森 P15

### ●小田急線沿線

- ☆スール活動支援ボランティア募集 詳細 P10
- ☆つどいの家まつりボランティア募集 詳細 P10
- ☆宿泊訓練同行ボランティア募集 詳細 P10
- ☆中2男子の登下校見守りボランティア募集 詳細 P11
- ☆世田谷代田ものこと祭りボランティア募集 詳細 P11
- ☆演奏ボランティア募集 詳細 P12
- ☆フリースクールでのボランティア募集 詳細 P12
- ☆お弁当の配達ボランティア募集 詳細 P13
- ☆ボランティア拠点でのアルバイト募集 詳細 P13

**わくわく公園青空まつり**  
9/5 (土) 11時～15時  
世田谷プレーパーク P14

**夏の夜市「エテマルシェ」**  
8/29 (土) 15時半～20時  
ケアセンターふらっと P15

**せたがやチャイルドライン**  
フリーダイヤルキャンペーン寄付のお願い  
受付期間 8/1～9/30 P15

**ボラセン歌声ひろば**  
8/19 (水) 10時半～12時  
世田谷ボランティアセンター P14

川床ボランティア  
ビューロー

**障がい児支援ボランティア養成講座**  
9/8～10/6 13時～16時  
世田谷ボランティアセンターほか P14

**～発達障がいの方、  
ここでゆっくりすごしませんか～**  
13時～16時 (毎月回)  
ボランティアビューロー P15





# OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

## ● 京王線沿線

- ☆ 認知症高齢者の社会参加支援してくださる方募集 詳細 P10
- ☆ フリースクールでのボランティア募集 詳細 P12

## ● 東急線沿線

- ☆ 18才女性の学び直しサポートボランティア募集 詳細 P10
- ☆ 3才男児のリハビリ運動サポート募集 詳細 P11
- ☆ 80代女性のお散歩の付き添い募集 詳細 P11
- ☆ つくしんぼフェスタ音楽演奏ボランティア募集 詳細 P12
- ☆ 情報誌「セボネ」発送作業ボランティア募集 詳細 P12
- ☆ 書道・絵手紙を指導してくださる方募集 詳細 P12
- ☆ お弁当の配達ボランティア募集 詳細 P13
- ☆ ボランティア拠点での非常勤募集 詳細 P13

- 京王線沿線
- 小田急線沿線
- 世田谷線沿線
- 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。  
 他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいです。後に続く情報をマップにお  
 としたり、今月のあなたの『おたがいさま』を書き入れてみてはいかがでしょうか。  
 ★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動(アクション)の目安に是非ご活用ください。

精神保  
9/5 ~  
ウツ

ココ  
8/7 (金)  
玉川ボラ

京王線沿線  
小田急線沿線

世田谷線沿線  
東急線沿線

# ボランティア求む



- ① プール活動支援ボランティア
- ② つどいの家まつりボランティア
- ③ 宿泊訓練同行ボランティア

東北沢つどいの家は重度の肢体不自由の方が通所している施設です。

- ① 月1〜2回行っているプール活動を支援して下さるボランティアを大募集しています。泳ぎの技術は全く必要ありません。いっしょにプールに入って利用者さんの体を支えたり、着替えのお手伝いをしていただける方、男女問わず大歓迎です。まずはお気軽にお電話下さい！
- 日時/主に火曜日 9時半〜11時45分
- 場所/世田谷区立総合福祉センター内プール
- 交通/梅ヶ丘駅徒歩5分
- ② 9月に開催する、「第25回つどいの家まつり」のお手伝いをして下さるボランティアを大募集しています。模擬店・喫茶・パザール等の販売・会場設営、片づけ等のお手伝いです。
- 開催日時/9月12日(土) 10時半〜13時半、13日(日) 11

時半〜14時

- ボランティア日時/9月10日(金)〜9月15日(火) 9時半〜16時のうち、ご都合の良い時間帯
- 場所/東北沢つどいの家
- 交通/東北沢駅徒歩10分

- ③ 秋に予定している宿泊訓練行事を募集しています。アイドル・電車・スポーツ好き等々、個性豊かな利用者さんと一緒に旅行してみませんか？ 障害のある方とあまり接したことがない方でもご連絡お待ちしております！
- 日時/10月27日(火)〜29日(木) 2泊3日
- 場所/山梨県石和方面
- 条件/全日程参加可能な方、男女各1名

- 問合せ/東北沢つどいの家担当 ①2小川、③佐々木
- TEL 34605・1832
- enhouse@ybnre.jp

## 京 認知症高齢者の社会参加支援して下さる方募集

認知症のある高齢者(女性)が、新代田から明大前にあるサロン「水曜クラブ」に参加するため、会場までの送りを支援して下さる方を募集しています。ご自宅までお迎えに行つていただき、会場までお連れください。

- 行程/ご自宅から新代田駅(徒歩5分) ↓ 電車で明大前駅 ↓ 駅

## 東 18歳女性の学び直しサポートボランティア募集

野毛青少年交流センターに集まる若者の中には、様々な理由により学期に学校に通うことができず、通常学校で学ぶ内容を学べなかつた人がいます。しかし彼らの多くも、自ら勉強して、普通の子どもたちが学んできた内容を取り戻したいと考えています。

今回は、中学に入学してすぐ不登校になり、現在高卒認定の取得に向けて勉強を進める18歳の女性の、学び直しのサポートをしてくださる方を募集します。現在、中学校初期の数学の学び直しから開始しており、今後英語などの教科にも取り組んでいくつもりです。必要に応じて、教え方や学習の進め方の設定など、当センタースタッフもサポートできればと思つて

から会場まで送る(徒歩5分)

- 日時/第1、第3水曜日 11時〜11時半(30分程度)
- 場所/松原ふれあい会館
- 条件/交通費支給

- 問合せ/新代田あんしんすこやかセンター 担当 岡戸
- TEL 53355・3402

- 条件/中学生〜高校程度の数学を教えられる女性(英語も教えられればなお可) 交通費含め1回2000円程度の謝金
- 問合せ/野毛青少年交流センター 担当 羽鳥
- TEL 3702・4587
- nogesei@npobunkanet

## 小

### 中学2年生の見守りボランティア募集

中学2年生の男子の登下校を、母親と一緒に見守りながら歩いてくださるボランティアを探しています。重度の知的障がい、発達障がい、自閉症、てんかんを併せ持っています。

現在、保護者とヘルパーが移動時を見守っていますが、ヘルパーが毎日の通学全てを同行することが困難な状況です。

●日時/月曜、金曜。①登校時7時50分～8時10分、②下校時15時45分～16時5分

●活動内容/登下校時の祖師谷4丁目の自宅～塚戸十字路のスクールバス停留の見守り(徒歩)

**東** 3才の男の子のリハビリ運動をサポートしてくれる方を探しています。自宅で、親御さんと一緒に過ごせます。誰にでもできる簡単な体操のサポートです。手と足を軽く動かす運動で、リズムカルに5分やってはしばらく休み、それを何度か繰り返します。男の子は、明るく元気で身体を動かすのが大好きなお子さんです。楽しくて遊ぶうちに、やさしく声をかけ

## 東

### 80代女性のお散歩の付き添い募集

等々力に住む80代の女性が、お散歩の付き添いを求めています。普段は施設で生活していますが、少しの認知症があり、ひとりでは出ができません。足取りも会話もしっかりしている元気な方です。一緒にのんびりお散歩を楽しんでくれる方をお待ちしています。

## 小

### 世田谷代田ものこと祭りボランティア募集

世田谷代田駅周辺を楽しく元気にしたいと、3年前から始まった「世田谷代田ものこと祭り」では、当日の運営ボランティアを募集しています。みなさんの力を貸してください！

『ありがとう。』『でつなごう』をテーマに、シャッター商店が並ぶ世田谷代田に1日だけ地元のお店や職人さん、飲食店協力のもと、全国からつくり手をお迎えします。『今、わたしたちが欲しいと思う未来を、1年に1日だけこの代田の街で形にしてみよう』という想いが詰まっています。ボランティア経験の有無、性別、国籍、世田谷区在住・在勤等に問わず、どなたでも参加いただけます。接客が好きな方、子ども

●日時/平日の昼間30～40分程度月1回から。

●条件/ヘルパー有資格者。年齢60代くらいまでの方。性別不問。

●条件/交通費支給  
●問合せ/玉川ボランティアアピュ  
一口ー  
TEL 3707・3528

好きな方歓迎です！ボランティア保険にはこちらで登録をしますので、ご安心ください。ボランティア参加者にはオフイシャルグッズプレゼント他特典あり。

●日時/8月23日(日)  
●場所/世田谷代田駅周辺  
●活動内容/子どもたちにお仕事体験の場を提供する「子どもお仕事体験」に参加する子どもたちのサポート、ものづくり出店の販売補助、ものこと祭企画の展示や出し物のお手伝いなど  
●申込/ボランティア登録フォーム  
http://bit.ly/OVn7TM  
●問合せ/世田谷代田ものこと祭り実行委員会 担当 大池  
090・6476・4502  
erikaokoe@gmail.com

## 東

### 3才男児のリハビリ運動サポート募集！

してください。子どもとかかわるのが好きな方、お待ちしています。●日時/月曜日以外、週1回から①7時～8時半②10時～11時半③15時～16時半  
●場所/子玉川近辺  
●条件/交通費支給  
●問合せ/玉川ボランティアアピュ  
一口ー  
TEL 3707・3528  
tamaborata@otagaisama.or.jp



演奏ボランティア募集

「ふくろうの家世田谷下北沢」はデイサービスをしている施設です。利用者は要介護1〜3、お元気で活発しかも多彩な趣味をお持ちの方々なので、あらゆるジャンルのボランティア活動を期待しております。現在、特に演奏会やコンサートをしていただける個人や団体の参加を切望しております。

- 日時/平日でも土日でも、14時～15時希望（日時とも相談可）
- 交通/世田谷代田駅、下北沢駅
- 条件/世田谷区のシニアボランティア・ポイント制度のVスタ（シルバー）を発行します
- 問合せ/ふくろうの家世田谷下北沢 担当 井上
- TEL 6805・29003
- fukurou-shimokitazawa@dream.jp

東 つくしんぼフェスタ 音楽演奏ボランティア募集

「三宿つくしんぼホーム」は、障害者の通所施設です。毎年秋に開催している施設のお祭りで、楽器演奏をしていただける方を募集しています。利用者をはじめ、地域の方々も毎年多く来場されます。音楽演奏の他、屋台やゲームなどの催しもあり、皆さんに楽しんでいただいております。音楽のジャンルは問いませんが、1〜2名で施設内を移動しながら演奏できる方を希望しています。イベントの詳細等、お気軽にお問い合わせください！

- 日時/10月17日（土）11時〜12時の間で30分程度
- 場所/世田谷区立三宿つくしんぼホーム
- 交通/三軒茶屋駅・下北沢駅徒歩20分
- 条件/音楽のジャンルは問わず。1〜2名で施設内を移動しながら演奏できる方
- 問合せ/三宿つくしんぼホーム 担当 齋藤・大澤
- TEL 3411・4711
- tukushi@akeoone.jp



東 情報誌「セボネ」発送作業ボランティア募集

情報誌「セボネ」の発送作業を手伝ってくださる方を募集しています。単発でも参加できます。

- 日時/8月28日（金）、9月25日（金）、10月28日（水）10時～12時、（毎月一回）
- 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 宮崎
- TEL 5712・5101
- fiyazaki@otagaisana.or.jp

東 書道・絵手紙を指導してくださる方募集

デイ・ホーム等々力では趣味活動・認知症予防の一環としてプログラムを行っています。書道は人気の高いプログラムですが、現在は書道の先生がいいため、書道を見て下さる方を募集しています。

- 日時/月〜土曜の間で相談、13時半〜14時半
- 場所/デイ・ホーム等々力
- 交通/尾山台駅下車徒歩5分
- 問合せ/デイ・ホーム等々力 担当 雑賀（さいが）、直井
- TEL 3705・10655
- dn-todoroki@rougo-happy.or.jp

京小 フリースクールでのボランティア募集

子ども達・若者の居場所、手作りの育ちの場として21年運営してきましたが、近年、更にこうした学校外の場が必要が高まってきています。平日の昼間働ける子ども好きの方を求めています。

- 内容/子ども達とのものづくり、料理、スポーツ、音楽、語り
- 問合せ/フリースクール僕んち
- TEL 3327・7142
- 代田4・32・17・B

- 日時/おでかけ、イベントなど。教材作り、通信の編集管理など。
- 場所/フリースクール僕んち
- 交通/梅ヶ丘駅、東松原駅徒歩10分

## 小東

### ①お弁当の調理、②配達ボランティア募集

①デイホーム桜丘では、デイホームの昼食と夕食のお弁当と一緒につくってくれる方を募集しています。調理が好きな方、料理を覚えてみたい方。男性の方も大歓迎です。ご興味のある方ご連絡ください。

- 日時／月曜～土曜の間で相談。9時～14時半頃
- 場所／デイホーム桜丘（桜丘1・19・22）
- ②夕飯のお弁当と一緒に配達してください。募集しています。

## 有償スタッフ募集

### 中国から来日した中学生の移動教室の同行・通訳

この6月に中国から来日して区内の中学校に通い始めた中学1年生男子が、9月に2泊3日で河口湖への移動教室に出かけます。男子生徒はまだほとんど日本語での会話ができないので、学校ではこのときに通訳として同行してくれる方を探しています。中学生の移動教室なので、中国語が話せる若い男性を希望しています。

- 問合せ／デイホーム桜丘 担当 木村
- TEL 5451・5502
- day.sakuragaoka@gmail.com
- 日時／9月14日(月)～16日(水) 2泊3日
- 場所／山梨県河口湖周辺
- 条件／中国語が話せる若い男性か日本語が話せる中国人留学生
- 謝礼／1日8000円×3日間
- 問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 高橋
- TEL 5712・5101

## 小東

### ボランティア拠点でのアルバイト・非常勤募集

世田谷の地域ボランティア拠点で、ボランティアに関する相談業務や、講座など事業の企画立案・実施など、ボランティア活動推進のための事業にかかわるスタッフを募集しています。

- ①育休代替非常勤職員
- 期間／8月以降～2016年6月30日まで（更新なし）
- 勤務日時／火曜～土曜のうち週2日または週3日
- 9時45分～18時（ただし週1回遅番 13時45分～22時）
- 条件／20歳以上で基本的なPC操作ができる方、人とかかわることが好き、地域のために何か始めてみたい方

- ②災害ボランティアセンター臨時職員
- 期間／8月以降～2016年3月31日まで（年度ごとの契約、更新あり）
- 勤務日時／火曜～土曜のうち週3日 9時45分～18時（ただし夜間に会議がある場合は13時45分～22時）
- 条件／災害ボランティア活動や防災・地域に関心がある方、

- ③アルバイト募集
- 期間／8月以降～2016年3月31日まで（年度ごとの契約、更新あり）
- 勤務日時／月曜～土曜のうち週3日程度（土曜は月～2回）9時55分～17時10分
- 条件／20歳以上で人とかかわることが好き、地域のために何か始めてみたい方
- 勤務地／①②世田谷ボランティアセンター（下馬2・20・14）
- ③代田ボランティアビューロー（代田2・20・6）
- 待遇／①②③とも時給9200円（交通費実費支給、雇用保険あり）
- 応募／履歴書（写真貼付）と作文（応募の動機1200字程度）を郵送または持参
- 1次選考／書類、2次選考／面接
- 締切／適任者が見つかり次第締切
- 郵送先・問合せ／世田谷ボランティア協会 スタッフ採用係
- TEL 5712・5101
- 世田谷区下馬2・20・14
- setabor@otagaisama.or.jp

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。9月号掲載は8月10日(月)に締め切ります。

## 講座・その他・募集

### 東 障がい児支援ボランティア養成講座

登下校の付き添い、授業中の学習補助、遊び相手など、少しのサポートがあれば、地域で楽しく過ごせるお子さんがいます。こうした活動に関心のある方に向けた講座です。「上手にかかわれるか自信がない」という方も大丈夫！

のいずれか1日以上選択受講  
③10月6日(火)、いずれも13時〜16時

●場所/①世田谷ボランティアセンター、②は都立光明特別支援学校、烏山区民センター、玉川ボランティアセンター  
●参加費/500円(資料代)  
●定員/30名  
●条件/全回出席できる方  
●問合せ/玉川ボランティアビューロー

●日時/①9月8日(火)、②9月14日(月)、16日(水)、18日(金)

TEL 3707・3528  
tamabona@otagaisana.or.jp

### 東 第31回 わくわく公園青空まつり

毎年恒例「青空まつり」、今年も開催します。バザー、模擬店、遊びのコナー、野外ステージなど、楽しい催したくさん！お誘い合わせのうえお越しください。

●日時/9月5日(土) 11時〜15時(雨天時6日に延期)  
9月4日(金) 19時から前夜祭

(野外映画会) も実施します。  
●会場/世田谷公園内、世田谷プレーパーク  
●交通/池尻大橋駅徒歩12分  
●問合せ/世田谷プレーパーク  
TEL 3795・2160  
[http://www.playpark.jp/info\\_pdp/setagaya.html](http://www.playpark.jp/info_pdp/setagaya.html)

### 福島県川内村での交流支援活動 参加者募集

せたがや災害ボランティアセンターでは月に一度、福島県川内村で交流支援活動を行っています。これまで桜の苗木の植樹や寺社の清掃活動、水田をお借りしてコスモスの種を蒔いたり、ビールハウスの解体のお手伝い、地域のお祭りに参加するなど、住民だけでは難しい作業やイベントのお手伝いを行ってきました。関心のある方はお問い合わせください。ぜひ

いっしょに活動しましょう。  
●日時/8月8日(土) 7時半頃 三軒茶屋出発、8月9日(日) 21時頃 三軒茶屋帰着

●場所/福島県双葉郡川内村  
●参加費/5000円(食費・入浴料は別途自己負担)  
●問合せ/せたがや災害ボランティアセンター 担当 今関  
TEL 5712・5101  
inazeki@otagaisana.or.jp

### 東 ポラセン歌声ひろば

いっしょに歌を歌いませんか？  
どなたでも参加できます。

ター  
●参加費/300円(茶菓子代)  
●問合せ/世田谷ボランティア協会をささえる会 担当 北嶋  
TEL 5712・5101

●日時/8月19日(水) 10時半〜12時 毎月第3水曜(申込不要)  
●場所/世田谷ボランティアセンター

### 「災害ボランティア入門」講座

個人でできる災害への備えや災害支援に関する一般知識、被災地での注意すべきケガや病気、出発前から活動後までの心構えなどについて学ぶ講座です。誰にでも必要な知識を日常から身に付けておきましょう。参加費無料！  
どなたでも大歓迎です。お気軽に

ご参加下さい。(要予約)  
●日時/8月8日(土) 13時〜16時半  
●場所/モンベル渋谷店  
●問合せ/一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター  
TEL 33663・7967  
<http://pbv.or.jp/>

## 東

### ココカフェ

「発達障がいの方」「こころ」で一緒にゆつくり過ごしませんか？  
発達障がいの特徴をもつ方、そのご家族、また関心のある方…ちょっとしたのそぎに来ませんか？

- 日時／8月7日（金）13時～16時、9月11日（金）月1回開催
- 場所／玉川ボランティアアビュロ

## 小

### 精神保健福祉ボランティア講座

今年度も「心の病」に関心のある方、ボランティア活動に興味のある方を対象とした「2015年度精神保健福祉ボランティア講座」を開催します。

- 日時／①9月5日（土）14時～16時、「心の病を抱える方たちへの理解と援助のために（心の病についての理解、ボランティアに期待する役割について）」
- 山中達也（山梨県立大学人間福祉学部准教授）
- ②9月7日～9月17日（日曜を除く）の原則1日以上「ボランティア体験実習」

- 交通／二子玉川駅徒歩5分
- 参加費／お茶代100円
- ※「発達障がい者を支援するボランティア養成講座」修了者が運営しています。

- 問合せ／玉川ボランティアアビュロ
- TEL 3707-3528
- tambora@otagaisama.or.jp

- ③9月17日（土）14時～16時「ボランティア講座を振り返って（グループディスカッション）」
- 場所／世田谷区立梅丘ウッドベッカーの森
- 参加費／500円（ボランティア保険加入済みの方は200円）
- 対象／高校生以上の精神保健福祉に関心のある方で、全回参加できる方
- 問合せ／NPO法人ウッドベッカーの森 担当 高木・小川
- TEL 3327-5917
- woodpecker@mfp.or.jp
- http://www.naroon.dti.ne.jp/npo-woodpecker/

## 東

### せたがやチャイルドライン フリーダイヤルキャンペーン 寄付のお願い

子どもたちがいじめなどの悩みを抱えやすい夏休み明け、9月1日（火）～6日（日）の1週間、専用フリーダイヤルキャンペーンを実施します。

このキャンペーンでは、子どもが通話料金の負担なく安心して電話をかけられるようにフリーダイヤルを開設します。子どもからの電話を受けるのは「受け手」「支え手」と呼ばれるボランティアですが、フリーダイヤルの増設には費用が必要です。

昨年は1週間で128件の電話をうけました。今年も世田谷の子どもへの電話を受けるために、多くのみなさまのご協力をお願いいたします。

●寄付は1口1000円から、

何口でも大歓迎です！

- 受付期間／8月1日～9月30日
- 郵便振替口座にお願いします。
- 口座番号／0012009-740880

- 口座名（加入者名）／「社会福祉法人世田谷ボランティア協会」をささえる会
- ※通信欄に、『キャンペーン募金』とご記入ください。
- \*この口座への寄付金は所得税の寄付金控除の対象にはなりません。寄付金控除をご希望の方は事前にご連絡ください。

- 問合せ／せたがやチャイルドライン事務局
- TEL 5712-5101
- childline@otagaisama.or.jp

## 東

### 夏の夜市「エテ・マルシェ」

高次脳機能障がい自主グループ「コージズ」主催の夏の夜市「エテ・マルシェ」。個性的なメニューが腕をふるう絶品屋台あり、生ビールと自然派ワインが乾杯。恒例のフリーライブもお楽しみに！

●会場お待ちしております。

- 日時／8月29日（土）15時半～20時
- 場所／ケアセンターふらっと
- 問合せ／ケアセンターふらっと
- TEL 5712-5105

## 世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

### ●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

### ●いのちを大切にするとところ「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒158-0083 奥沢8-13-10 TEL (5829)8741 FAX (5829)8743

### ●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬2-20-9 TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒158-0083 奥沢8-13-10 TEL (5829)8742 FAX (5829)8743

### ●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)  
\*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

## 拠点は今… 今月のおススメ!

### ◆センター&ビューローより

焼けつくような暑い日差しの中、今年もたくさんの学生が初めてのボランティア体験に挑戦しています。すてきな出会いや初めての経験、忘れられない夏になることでしょう。

### ◆ふらっと&withより

今年も猛暑でスタートした夏到来! いかにも涼しく楽しむかが、ふらっと、withの知恵の出どころ。まずは「かき氷」との再会です。ご一緒しませんか?

### ◆チャイルドラインより

9月1日~6日の「フリーダイヤルキャンペーン」にむけて準備中。世田谷区内の小学生・中学生・高校生にむけて77,000枚のチラシを印刷・梱包します。広報に協力してくださるボランティア募集中です。

### ◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

### 編集後記

- 学童疎開…、小学生の子どもを育てる親として胸がしめつけられる想いで聞きました。そして、子どもたちにどれだけのことを伝えられているだろうかと反省し、まずは自分が知ることが必要だと思いました。
- ここ数年激しくなっている感のある自然災害。集中豪雨や地震、津波、噴火などの災害には日頃の備えとご近所との関係づくりが不可欠ですね。
- 子どもが学校から持ち帰ってきた朝顔を育てています。今日は何個咲いたかなと子どもよりも先に楽しんでます。(み)

- 発行  
社会福祉法人  
世田谷ボランティア協会  
〒154-0002  
世田谷区下馬2-20-14  
TEL 03-5712-5101  
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL  
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ  
http://www.otagaisama.or.jp/
- 発行人  
興梠 寛